

3. 14期サポートの会 活動総括

代表 金田 博司

コロナ下の課題を解消する1年へ

学科部会の設立

キーワード 「一人ひとりのサポート活動」と
「集う」と「交流」の場造り

文書管理と 情報伝達の改革

キーワード

- ① IT化で、役員の負担軽減
- ② 情報伝達のスピード化と正確性
- ③ アクセスが容易で
引き継げるアーカイブ作り

サポート活動の 質の維持向上

キーワード

- ① 事業企画をどうするか
- ② 女性の参加し易い
体質へ
- ③ 規約の見直し

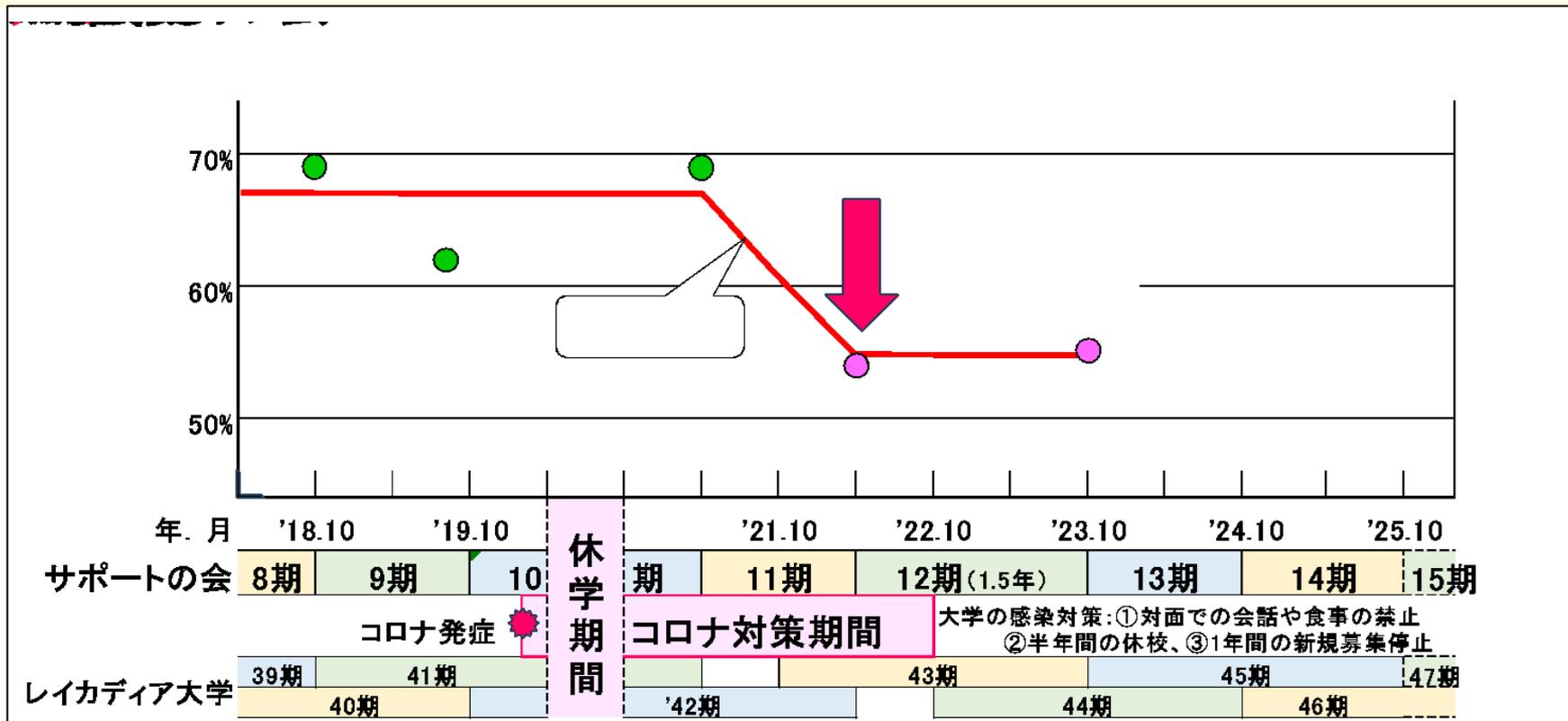
レイ大の絆・人の繋がりを大切にし、会員自らが楽しむ活動

<コロナ下の課題1>

入会率が、67% ⇒ 55% へ12%減少

入会率が減少 ⇒ 会員が減少 ⇒ サポートの会の活動パワーが減少！

入会率は、サポートの会の人気の指標であり、パワーの目安

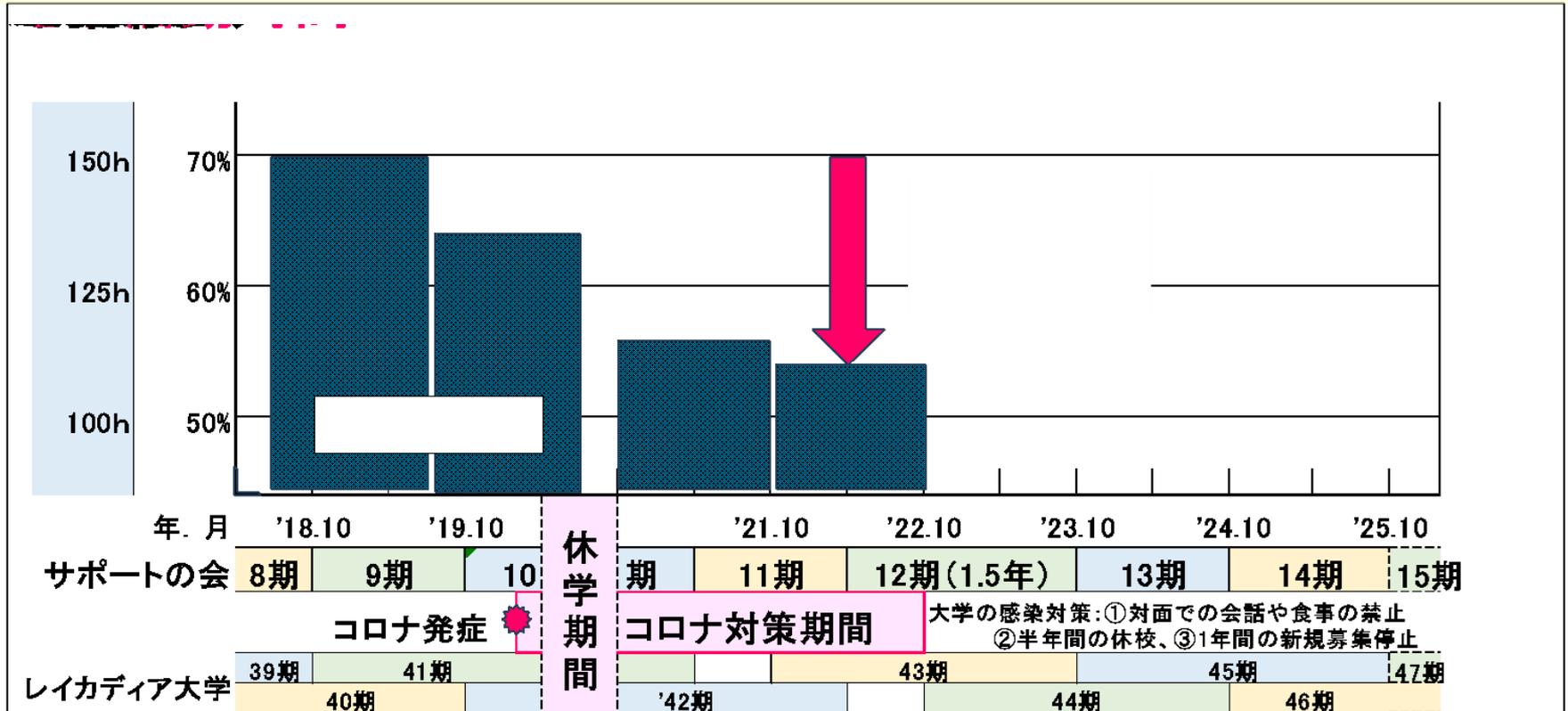


<コロナ下の課題2>

一人当たりの年間の地域活動時間、27%減少

会員の活動時間の減少 ⇒ サポートの会の活動が鈍化！

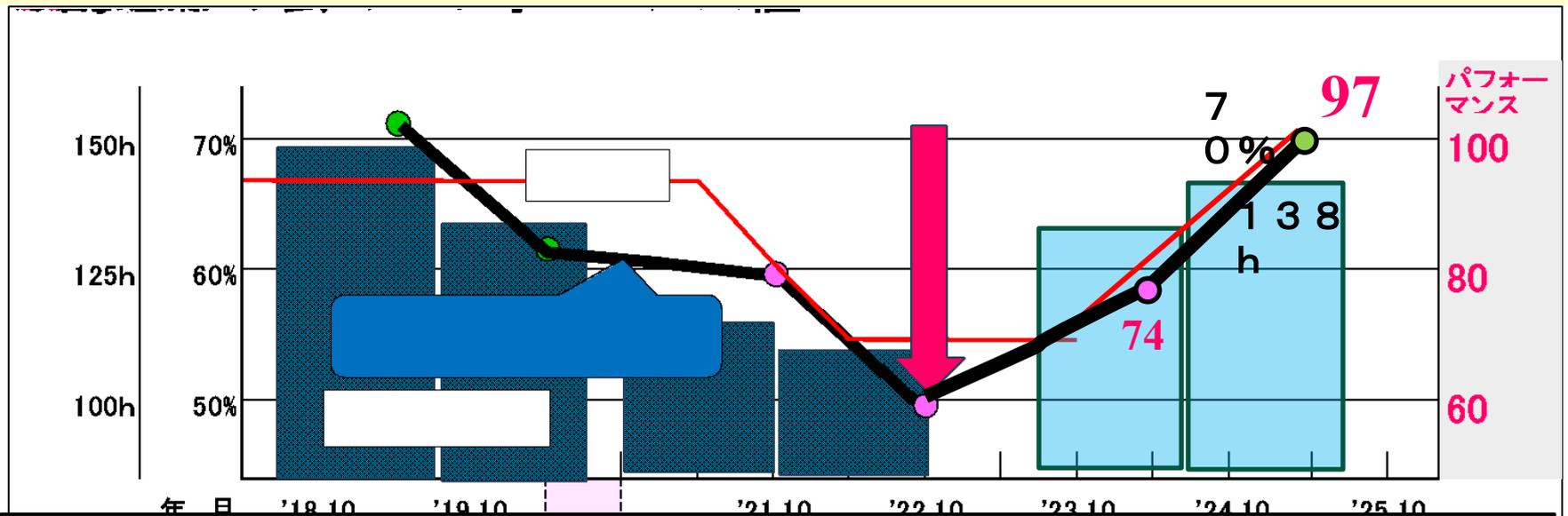
地域活動時間は、会員の活力や仲間との繋がり の尺度



入会率が減少し、更に活動時間も減少、相乗効果で作用



サポートの会の パフォーマンスは4割以上低下 していた!



サポートの会の活動は、二年がかりの
部会の頑張り、学科部会の新設で、ようやく元通り

コロナ下の課題を解消する1年へ

学科部会・部会・学生募集PJ・会計・総務以外の活動

サポートの会を 知ってもらおう取組	在學生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生オリエンテーションでの説明 ・ 在學生対象 サポートの会の説明会
	會員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新役員・役職者対象研修会 ・ 学科部会新設オリエンテーション
	外部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河合県議との懇談会 ・ 彦根サポートの会との交流 ・ 京都SKYシニア大学出講 ・ 長野シニア大学と交流 ・ メキシコ視察団との交流
組織を 強くする取組	組織・活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学科部会の新設 ・ 女性役員と役職者を増やす取組 ・ 役員会、調整会議の運営方法の見直し ・ 支援が必要な部会、学科の役員体制の再構築
	ドキュメント ・ 広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規約改定 ・ 役員会運営細則の制定 ・ 會員名簿の整備 ・ 配布物の電子配信化の検討

サポートの会の女性会員の増加予測（13期終了時点）

シミュレーション計算方法 = 男女別入学者数 × 男女別卒業率 × 男女別入会率

第13期サポートの会会員数 実績				
卒業期	41期	42期	43期	合計
男	52	39	48	139
女	23	19	18	60
合計	75	58	66	199

シミュレーション結果
➡

第16期サポートの会会員数 予測				
卒業期	44期	45期	46期	合計
男	51	45	43	139
女	25	34	42	101
合計	76	79	85	240

13期サポートの会の女性比率は30%、16期では42%を予測
しかし、46期生だけを見れば男女比率は1:1へ急上昇が見込まれる！

レイカディア大学の状況

- ・年々女性入学者が増加し、その上卒業率も女性の方が高い。
- ・女性学科長が就任、**女性のリーダーが育っている。**



サポートの会の状況

- ・従来の役員会は、**男性ばかり！**
「これでいいの？」と思う状態
- ・**女性役員はゼロ、女性リーダーが不在！**

14期の対応！

女性の三役・役員（役職者）を増やし、活動へ女性の意見を反映させる。

